

りくりゅう



ファイギュアペア初 SP5位から逆転



ペア・フリー 演技する三浦璃来
(上)、木原龍一組(共同)



ペアで金メダルを獲得した三浦璃来
(左)、木原龍一組(共同)

【ミラノ共同】ミラノ・コルティナ冬季五輪第11日の16日、ファイギュアスケートのペアで愛称「りくりゅう」の三浦璃来(24)、木原龍一(33)組(木下グループ)が同種目で日本勢初の金メダルに輝いた。ファイギュアでは女子で2006年トリノ五輪の荒川静香、男子で14年ソチ、18年平昌両五輪の羽生結弦に続く頂点。兵庫県出身の三浦と愛 選手権を制した。今大会は 5位と出遅れたが、フリー知具出身の木原は19年にペア 団体で日本の2大会連続で会心の演技を披露し、逆アを結成。前回北京五輪は「銀」に貢献。15日のショートプログラム(SP)で 7位で、23、25年の世界 ートプログラム(SP)で 転した。

